



Q 交付基準が1ヘクタール2万円から1万円に減額及び集積面積が減る見込みであるため。

Q 産業振興基金繰入金の前年度からの増額理由は？
A 前年度までは立木売却収入を充てていたが、新年度から全額基金からの繰り入れとしたため。

Q 町税4税の増収方策は？
A たばこ税は、健康嗜好に伴い減額傾向にある。軽自動車税の増収PR及び購入補助は考えていない。

Q 民生手数料において、生きがいデイサービス利用者負担を新年度予算に計上していない理由は？
A 新年度以降、生きがいデイサービス事業が介護予防事業に位置付けられ、参加者負担金をいただかないため。

Q 民生費国庫補助金の低所得の高齢者向けの給付金給付事業費は、どのようなものか？
A 国では、平成28年前半の個人消費の下支えのため、低所得者への定額給付金を支給。本年3月15日から6月15日までの3カ月間の申請受付を行い、本町の支給予定者は460人を見込んでいます。

Q 低所得者介護保険料軽減負担金とあるが、個人的に負担が発生するの？
A 個人が負担する性格のものではなく、町が負担軽減した分に代って、国が補填するもの。

Q 一時借入金の限度額、5億円は妥当と思うが、過去に実行された経緯があるか、参考までにお聞かせいただきたい。
A 最近、一時借入を行ったことは少ない。

Q 茂岩山自然公園内遊歩道の間伐等整備の考え方は？
A 遊歩道の整備地区は保安林に指定しているため抜本的な間伐は難しいが、利用に支障とならないよう現地を確認しながら、部分伐採等整備していく。

Q 町内青年女性交流推進事業補助金の内容は？
A 町内で実施する交流会等に対する助成。農協・漁協・商工会各青年部、職域、飲食店等

Q 道路、地形等を現地調査し、使用者の利便性、建設費用等を考慮して判断した。



現在の葬斎場

Q 葬斎場の火葬炉を1基とした理由は？
A 火葬炉性能、将来の人口動態推計を考慮して1基とした。

Q 葬斎場の建設工事及び火葬炉整備の入札時期は？
A 4月中に入札を執行し、5月中に本契約の議会提案をしたい。

Q 農業農村サポート研修施設管理費の減額理由は？
A 平成27年度執行見込額を基に計上した。

Q 新規魚種開発事業補助金を新年度予算に計上していない理由は？

にPRし、男女の交流の場を作っていく。

Q 定住促進の各事業を町外へ情報発信する方法は？
A インターネットを使っての情報発信のほか、子育て支援施設、住宅施策等の冊子を作成し、移住イベント等で配布している。今後は、関係団体の協力を得ながら進めていく。

Q (仮称)とよころファンクラブの概要は？
A 東京豊頃会、札幌豊頃会に参加していない豊頃町出身の若者世代を対象とし、豊頃町の情報提供して本町のPRを依頼することも、Uターンなどの移住促進につなげる。

Q 町外通勤者助成金の利用実績と今後の見込みは？
A 平成23年度から実施しており、平成23年度27人、平成24年度21人、平成25年度25人、平成28年度整備完了。高齢者住宅は平成29年度までに4棟13戸を整備、大津寿町町営住宅は平成29年度までに2棟4戸、豊頃南町団地は平成30年度からの建替を計画。十弗団地は1棟を取り壊し、2棟は継続使用予定。また、茂岩市街、豊頃市街への建設を検討する。

Q 十分な成果が得られず事業が中止となったが、今後は、大津漁協及び大津漁協青年部と協議のうえ対策を検討していきたい。

Q 中小企業融資制度の概要は？
A 町が帯広信用金庫豊頃支店に8千万円を預託し、それを原資にその3倍を融資枠として中小企業者に融資する制度。その他、融資の際の利子及び信用保証料の補助を行う。

Q とよころ産業まつり補助金の減額理由は？
A 平成27年度は、町制施行50周年として例年から上乘せしため。

Q こつぷく観光プロジェクト実事業補助金の減額理由は？
A 国の補助事業による基盤整備が終了したため。今後は、その基盤を使って事業展開していく。

Q 設備が不十分な古い公営住宅があるが、対応策は？
A 今後改修に向けて検討していく。

Q 公営住宅の今後の整備計画は？



茂岩岩町に建設された高齢者住宅

Q 高齢者住宅への移転費用対策、家賃は？
A 移転費用を補助。家賃は月額1万2千円。

Q サマールランド中学生派遣事業に対する低所得世帯への支援は？
A 参加者負担への支援は行っていない。今後支援の必要参加希望者がいれば検討したい。

Q える夢館の維持管理体制は？

26年度22人、平成27年度上半期で23人が利用。新年度は助成範囲を10歳拡大し、55人の利用を見込む。

Q ふれ愛タウン推進会議、行政改革推進委員会、まち・ひと・しごと創生会議の各会議に委員が重複していると思うが、機動力ある委員会とするための方策は？
A それぞれ法律に基づいて組織する委員会のため、重複する委員が生じている。今後は可能な範囲で様々な方を委員に推薦していきたい。

Q 移住定住の推進に担当部署に限らず役場職員OBを活用しては？
A 町外在住で本町にゆかりのある方にまちおこしへの協力を得ながら推進していきたい。

Q 福祉灯油の支給状況は？
A 生活保護基準の1.3倍以下の収入の世帯及びひとり親世帯、準要保護世帯などを支給対象としている。平成27年度は、福祉灯油86世帯、薪支給4世帯の合計90世帯に支給。

Q 葬斎場の建設位置の考え方は？

Q 不測の事態にも対応可能な施設となるよう維持、整備していく。

Q 十勝川河畔林等伐採物処理事業の予算計上がない理由は？
A 事業完了したため。今後、必要に応じて予算計上していく。

Q 下水道施設改築更新工事による効果は？
A 耐用年数の過ぎた機械設備等を更新する。

Q 下水処理場維持管理業務を地元業者が請け負うことは可能か？
A 業務の性質上、専門資格・同種の業務経験のある業者に委託しているため、地元業者では難しいと考えている。



茂岩下水浄化センター